

奈良県医療勤務環境改善支援センター  
令和4年度 医療機関の勤務環境改善研修会アンケート結果

研修日 令和4年9月26日(月) 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室B・C  
参加者 76名 アンケート回答者: 64名(回答率: 84.2%)

**【設問1】 研修会の内容についてあてはまるものを選んでください**

<テーマ1 医師の働き方改革の施行に向けた県内医療機関の準備状況について>

	回答数	割合
1. 大変参考になった	14	21.9%
2. 参考になった	46	71.9%
3. あまり参考にならなかった	3	4.7%
4. 参考にならなかった	0	0.0%
未記入(他の設問で一部回答)	1	1.6%

<テーマ2 宿日直許可制度について>

	回答数	割合
1. 大変参考になった	15	23.4%
2. 参考になった	43	67.2%
3. あまり参考にならなかった	5	7.8%
4. 参考にならなかった	0	0.0%
未記入(他の設問で一部回答)	1	1.6%

<テーマ3 今知りたい医師の働き方改革に求められる医療機関の取組>

	回答数	割合
1. 大変参考になった	32	50.0%
2. 参考になった	29	45.3%
3. あまり参考にならなかった	0	0.0%
4. 参考にならなかった	0	0.0%
未記入(他の設問で一部回答)	3	4.7%

**【設問2】 あなたがこの研修会に参加した目的は次のうちどれですか**

(重複あり)

	回答数	割合
1. テーマに興味を持ったから	55	85.9%
テーマ1	25	39.1%
テーマ2	35	54.7%
テーマ3	43	67.2%
2. 講師に興味を持ったから	18	28.1%
テーマ1	10	15.6%
テーマ2	10	15.6%
テーマ3	16	25.0%
3. その他	9	14.1%

**【設問3】 研修会の時間について、あてはまるものを選んでください**

	回答数	割合
1. ちょうど良い	54	84.4%
2. 短い	6	9.4%
3. 長い	2	3.1%
4. その他	1	1.6%
未記入(他の設問で一部回答)	1	1.6%

**【設問4】 本日の研修に関する感想・今後希望するテーマ・勤改センターへの要望等**

- 宿日直許可について、ある程度、目標数値を奈良県として示していただけると、努力することができる。  
 ・軽度な業務 1回あたり17:00～8:30のうち○○時間程度  
 ・通常の業務 1回あたり17:00～8:30のうち○○時間程度
- 奈良県労基署へ病院協会や奈良県から許可申請を受け付けるにあたり、働きかけを行ってほしい。実情に合った考え方をしていない。一般の許可申請に合わせるような考え方をされている。(協力的ではあるが労基の基準とするとところかわからない。)
- 医師の働き方改革をうけて、タスクシフト・シェアを考える必要性を強く感じています。医師が今されている書類の処理だけでも請け負うことが、医師の働き方改革になること、又、それ以外の医療行為や指示を受けるためにも大事だとさらに実感しました。当院は採血や静脈路の確保はナースがしています。又、他部門も含め幹部会議でタスクシフトを考えています。話し合う“場”をもうけることはとても大事だと思いました。
- 全体的に時間が短く、説明をゆっくり聞きたい。
- オンラインでの開催も検討していただきたい。
- テーマ3の時間を長くとももらい、説明を深くしてもらっても良かったと思う。
- 事務局として理解をすすめ、各先生方に正しくご理解いただく。
- 当院は監督署の指導を受けて改善しております。医師の働き方改革によって、その周囲の事務、看護師等の残業時間(就業前を含む)増が予想される。経営側としては、事務、看護師等の時間外賃金を容易にカットすることが可能なシステムを利用している場合があると考えられる。労働基準監督署には、こういう労働者の不利益が医師の働き方改革の裏側に存在することを十分に理解いただき、いわゆる、ブラック病院への徹底的な指導をまず行っていただきたいと思います。
- 宿日直の県内の病院の許可状況(届出状況)をまとめていただき、オープンにしてほしい。(問い合わせたら各病院の状況をわかるようにしてほしい)
- 宿日直届について、他院の具体例をたくさん紹介してほしい。(特に難しいと考えられた内容であったが承認された例など)
- 厚労省藤川先生の講演が非常に分かりやすくもっと早く聞いておきたかった。
- 先生たちの気持ちと働き方改革の両立が難しい。
- 救急車受入の救急病院に特化したセミナーをお願いします。
- 今後の看護職としての立場で研修会に参加いたしました。  
 ・医師の働き方が、看護職に及ぼす影響はかなりあると考えています。医師のサポートを行うにあたり、看護職からも他職種へのタスクシフトも考えていこうと思っています。正しいタスクシフト/シェアのあり方が十分に理解することを看護職に伝えたいと思います。  
 ・医師と対面で医療職が話し合う機会を医師から持ってもらいと、うまくタスクシフトが進むと思います。